

つくば市におけるOSSの活用

－ 導入から4年、今、つくば市は？ －

つくば市教育委員会指導課 指導主事 吉田 浩

yoshida@js7. so-net. ne. jp

http://www. tsukuba. ed. jp

キーワード：OSS，XOOPS

1. はじめに

つくば市では、平成16年度に市内小学校4校、中学校1校、平成17年度に中学校1校の計6校に、OSSを導入し、実証実験を行った。その結果、小学校1年生から中学校3年生まで、学習において効果的に活用できるということが分かった。教師にとっても授業において活用するのに、支障なく活用できることが分かった。さらに、校務用の実証実験では、小学校において1校で取り組んだが、全員の先生が校務において効果的に活用できるということも分かった。

2. 現在のつくば市の現状

2.1 現在のOSSの活用

平成16年、17年に実証実験を行った学校のうち4校において、授業や校務において、現在も活用がされている。しかし、すべてをOSSで行うには至っていない。学校の中には、非OSSとOSSとが混在し、教師も子どもも上手に使い分けしている。実証実験を行ったときよりも、OSS、非OSSも共に活用が活発になっている。また、OSSこそ非OSSであるが、市内の中学校においてOSSソフトの活用がより活発になっている。



写真1 中学校理科



写真2 小学校理科



写真3 小学校家庭科



写真4 中学校家庭科

2.2 非OSSの導入からOSSの導入に向けて

(1) 子どもが活用するコンピュータの導入

平成18年度に、市財政部から学校用コンピュータの導入のコスト削減を命じられ、市内すべての学校のコンピュータのOSS化することを考えた。これまでの実証実験の結果をふまえ、導入の検討会議を開いた。しかし、授業に

において欠かせない教育用グループウェアなど、非OSSでは活用できないソフトがあり、導入を断念した。しかし、中学校において欠かせないワープロソフト、プレゼンソフトなどは、OSSソフトを導入しコスト削減に成功した。現在、市内の小中学校全校において、ワープロソフト、プレゼンソフトはOSSを活用している。学校のコンピュータすべてをOSSにするには、まだ時間がかかると思われるが、前進している。

(2) 教員が校務用に活用するコンピュータの導入

平成20年度に教員が校務用に活用するコンピュータの導入を考えている。今年度、教員用のコンピュータ導入に向けて、コンピュータ、ソフトの検討を行った。市財政部からコストの削減を命じられ、OSSでの導入を検討した。しかし、市情報システム課、市長部局から、市職員が活用している方式と同じにし、将来的に一括管理できるようにするよう命じられ、導入を断念せざるを得ない状況にある。ただし、ソフトウェアに関しては、ワープロソフト、表計算ソフト、プレゼンソフトは、OSSソフトの導入を考えている。完全にOSSを導入するには、行政用のコンピュータもOSSにする必要があり、行政におけるOSS活用の実証実験が必須のことと感じる。

2.3 WEBサイトにおけるOSSの活用

実証実験が始まった平成16年度から、市内全小中が校のWEBサイト、市教育委員会のWEBサイトをXOOPSを用いて作成することに取り組んだ。平成18年度までには、すべての学校がXOOPSによるWEBサイトが導入された。XOOPSは自由にカスタマイズできるので、教員に大好評である。自由にカスタマイズできる楽しさ、それこそOSSを活用する楽しさであるように思う。今、各学校において全員の教員がWEBサイトの作成に携わっている。全員の教員がOSSの醍醐味を味わっていることになる。XOOPSにおけるWEBサイトを作成することによって、OSSへの意識も高まってきている。



図1 市教育委員会WEBサイト



図2 各学校のWEBサイト例

3. 最後に

3.1 学校を完全にOSS化するためには

- ・ 子ども用のコンピュータについては、グループウェア、教育用コンテンツなどOSSで活用できることが必要（他に支障はない）。
- ・ 教員用のコンピュータについては、行政用のコンピュータもOSSであることが必要（行政用コンピュータを導入している部署の理解が必須）
- ・ 企業のサポートなしでは、実現は難しい。

3.2 今後のつくば市の方向性

- ・ 子ども用のコンピュータについて、完全OSS化をめざしていく。できるところからOSS化をする。昨年度から、OSSソフトを導入。OSのOSS化には、まだまだ時間がかかると思われるが、前向きに取り組んでいく。
- ・ 教員用のコンピュータについても完全OSS化をめざしていく。できるところからOSS化をする。WEBサイトなどOSS化に取り組むことによって、全員の教員がOSSの良さを実感できるように意識改革をしていく。OSSについて、市長部局、市情報システム課に理解を求めていく。